

地震発生時の行動原則

- ① グラツきたら、まずは身の安全
- ② 揺れが収まったら、火の元確認、初期消火
- ③ 安全確保に努め、より安全な場所へ避難

災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすい物から離れ、落下物注意
 - むやみに動かず安全確保
 - 非常口、ドアを開放し避難口確保
 - 避難は徒歩で最小限の荷物
 - エレベーターを使用せず階段で避難
-
- 正確な情報を収集し、集団行動
 - 負傷者の救護、初期消火に協力
 - 家族・大学への安否確認連絡(通報)

メモ

日頃の準備

大地震の発生を未然に防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することはできます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認(自宅周辺)
- 家族との連絡方法(待合せ場所)
- 災害伝言サービスの確認(登録)
(メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルート(所要時間)の確認
(災害時2.5Km/h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 大学および友人等への連絡方法
- 転落防止や緊急時アイテムの確認

メモ

緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- 現金
- 健康保険証 (家族・友人連絡先)
- 学生証(免許証)
- 雨具(カッパ等)
- タオル(ぼんそうこう)
- 携帯充電(ケーブル)
- 手回し充電(ラジオ・ライト)
- ゴミ袋、ティッシュ、衛生キッド
- 非常用保温シート(アルミシート)
- 非常用携行食料(飴・チョコ等)

その他非常時に必要なアイテム

- 非常用食料・水
- 衣服(上・下着等)
- 貯金通帳(カード)
- デイパック
- 運動靴(スリッパ)
- 洗面用具
- 予備電池
- ライター、缶切り
- ラップ・アルミ箔
- ホイッスル
- 紐・ロープ・ロウソク
- カイロ・軍手・マスク

メモ

大規模災害(地震) 対処マニュアル



学校法人 都築学園
日本薬科大学

NIHON PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

大学への連絡方法

揺れが収まり、身の安全を確保したのち安否を通報してください。
安否通報項目

- ① 氏名
- ② 学籍番号
- ③ 学科
- ④ 本人・家族の状況
- ⑤ 自宅・実家の状況

1 マイクロソフト:Forms回答(発災時)

- ① さいたまキャンパス
上記の①～⑤回答
- ② お茶の水キャンパス
同上

③ 詳細:Teams(チャット)対応

2 電話

- ① さいたまキャンパス:048-721-6159(学生課)
- ② お茶の水キャンパス:03-5812-9011(代表)

家族への連絡方法

NTT災害伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくくなった場合、提供されるサービスです。

伝言の録音

伝言の再生

1 ☎171へ電話(ガイダンスの指示)

2 1 2

3 市外局番+ 自宅電話番号 市外局番+ 被災地の方の 自宅電話番号

市外局番

電話番号

--	--

- 利用可能端末:公衆電話、一般電話、携帯
- 伝言数 :1~10伝言/1電話番号
- 録音可能時間:30秒以内/1伝言
- 伝言保存期間:2日間(48時間・自動消去)

携帯各社の災害伝言板サービス

事前の登録(テスト)が必要です

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができるサービスです。あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。またインターネットからも安否情報の確認が可能です。



携帯各社のQRコード



NTTドコモ	http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
Au	http://dengon.ezweb.ne.jp/
ソフトバンク	http://dengon.softbank.ne.jp/
ワイモバイル	http://dengon.ymobile.jp/

緊急時パーソナルメモ

氏名 _____

学科 _____ 学籍番号 _____

住所 _____

電話番号(自宅) _____

(携帯) _____

緊急連絡先

氏名 _____ 電話番号 _____

氏名 _____ 電話番号 _____

持病 _____

携帯薬 _____

自宅近くの避難場所 _____

家族との待ち合わせ場所 _____

地震発生時は裏面へ

地震発生後
直

揺れが
収まったら

落ち着いたら
身の回りを確認

落ち着いて
情報収集(連絡)

地震発生
安全確保

今いる場所
安全か？

YES:
その場で待機

NO
その場から避難

家族と安否
確認



移動できる？

YES:
自宅へ

NO:
避難所へ

大学へ
安否連絡



大学にいるとき

- ①危険物から離れる
- ②落下物から頭を守る
- ③出口を確認・確保
- ④体を丸め防護・待機

- ①沈着冷静に周囲を確認し安全確保
- ②防災放送・教職員の指示を確認
- ③避難先・経路確認
- ④冷静に避難

通学・外出時

- ①周囲確認・安全確保
- ②壁・電柱・自販機から離れ・落下物注意
- ③群集心理に陥らず沈着冷静に観察
- ④地下・トンネルでは誘導灯・出入り口を確認し冷静に行動

- ①警察・消防・公共機関等の指示に従い安全最優先
- ②避難は徒歩手荷物は最小限
- ③負傷者救護・初期消火に協力
- ④エレベーター停止安全に階段使用

さいたまキャンパス



キャンパス内で待機

- ①宿泊・給食等は、教職員の指示による
- ②家族等への安否連絡を実施

帰宅可能な場合

- ①教職員に連絡・帰宅
- ②2人以上で行動
- ③帰宅後大学に連絡



お茶の水キャンパス

防災情報

帰宅支援
ステーション



<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/index.html>